

# 近未来オステオインプラント学会誌 投稿規定

## 1. 投稿について

- 1) 投稿論文の内容は歯学、医学およびこれに関する領域の研究成果、臨床報告などで、他誌に掲載されていないものに限る。
- 2) 投稿は本会の会員に限定するが、依頼原稿など、非会員でも広報編集委員会で認めたものはこれを許可することがある。
- 3) 本誌掲載の著作物の著作権の譲渡にあたって、承諾書に著書全員の署名捺印(外国人については捺印不要)を行い、投稿原稿とともに提出する。本誌に掲載された論文等の著作権(著作財産権 copyright)は本学会に帰属する。掲載後は本学会の承諾なしに他誌に掲載することを禁ずる。また本学会が必要と認めたとき、あるいは外部からの申請があったときは、広報編集委員会で審議し、掲載ならびに著作権使用を認めることがある。
- 4) 本誌掲載の著作物の複写権、公衆送信権は本学会に帰属するものとする。
- 5) ヒトを研究(実験)対象とする内容については、ヘルシンキ宣言を遵守し、倫理的に行われ、さらに患者あるいは被験者との間にインフォームドコンセントが得られていなければならない。また動物を研究(実験)対象とする内容については、各種の動物保護や愛護に関する法律や基準に則していなければならない。
- 6) 臨床症例に関する報告と患者情報の記載のある論文については、個人が特定されないよう匿名化をはかる等、被験者のプライバシーに配慮すること。
- 7) 原稿の採否は複数の査読委員による審査をもとに検討し、学術委員会で決定する。ただし、内容、字句等の修正を求めることもあり、投稿規定に従わない原稿は受理しない。

## 2. 原稿受付および投稿先

- 1) 原稿は常時受け付ける。年度締め切りは毎年7月第一週土曜日(近未来オステオインプラント学会総会・学術大会時)とする。
- 2) 投稿先は〒814-0113 福岡県福岡市城南区田島4丁目13-11 近未来オステオインプラント学会事務局』とする。
- 3) 投稿は書留にて送付することとする。

## 3. 投稿論文の作成、提出方法

- 1) 投稿論文は和文または英文にて作成すること。
- 2) 投稿論文はパソコンにて作成すること。
- 3) 原則 Microsoft 社の WORD をフォーマットとして用いる。
- 4) 文章の区切りは、和文の場合は「、」「。」、欧文の場合は「,」「.」に統一する。
- 5) 図、表、および写真は A4 の用紙に貼付し、筆頭著者名を記入する。また挿入する箇所は必ず本文中の該当位置の欄外に、朱記で明示する。
- 6) 図、表の表記にはそれぞれ「図」「表」英文の場合は「figure」

「table」を使用すること。

- 7) 図、表の大きさは初校時に調整するものとする。
- 8) 投稿論文(2部)は下記の順序に揃え、頁付けする。  
①表紙(論題、所属(所属支部)、氏名を和文または欧文にて)  
②キーワード、要旨 ③本文 ④文献 ⑤図、表
- 9) 投稿論文を原稿として A4 用紙に打ち出したもの 2 部、投稿票 2 部・投稿前のチェックポイント・承諾書を各 1 部および論文および図表を CD-R に入れ、データとして事務局に送付すること。
- 10) 査読が終了し返却した後、訂正した最終原稿をプリントアウトしたもの 1 部と本文および図版を保存した CD-R を事務局に提出すること。
- 11) 提出する CD-R には論題、所属または所属支部、氏名を記入すること。
- 12) 投稿票・投稿前のチェックポイント・承諾書は学会誌添付のものをコピー、もしくはホームページよりダウンロードしたものを使用すること。

## 4. 投稿票、論題表紙の書き方

- 1) 論題、症例演題において欧文論題の単語の語頭は大文字を使用する。但し冠詞、前置詞、接続詞等は小文字、学術専門用語については著書の表記による。
- 2) 著者の所属表記は下記ようになる。  
(記載例)吉嶺真一郎 藤田憲一(連名の場合)  
近未来オステオインプラント学会 鹿児島支部
- 3) キーワードは 5 語以内とする。
- 4) ランニングタイトルは和文論文の場合 30 字以内、欧文論文 50 字以内とする。

## 5. 要旨の書き方

和文要旨は 1000 字以内、欧文要旨は 300 語以内とする。

## 6. 本文の書き方

- 1) 和文本文は 5000 字以内、欧文論文は 1500 語以内とする。
  - 2) 原著、臨床研究の構成順序および項目表記は  
緒言(Introduction)、材料および方法(Materials and Methods)、結果(Results)、考察(Discussion)、結論(Conclusion)、謝辞(Acknowledgements)、文献(References)などとする。
  - 3) 症例報告の構成順序および項目表記は  
緒言(Introduction)、症例の概要(Abstract)、治療内容(Treatment plan)、経過と考察(Result and consideration)、文献(References)
  - 4) 単位記号は国際単位系(SI)を使用する。
  - 5) 引用文献は引用順に記載し、引用個所の右肩に番号をつける。
- ①本文に和文投稿論文で共著のいる論文を引用する場合  
著書名の引用については、引用論文が和文、欧文にかかわらず、筆頭著者 1 名のみを表記し、「…ら」とする。

表記例「堤ら」

②本文に欧文投稿論文で共著者のいる論文を引用する場合

a. 著者が2名のとき、筆頭著者と共著者を併記する。

表記例；「Larjava and Utto・・・」

b. 著者が3名以上のときは筆頭著者 et al. とする。

表記例；「White et al.」

ただし、「文献」欄への記載には、共著を含め3名まで記し、4名以上は「他」または「et al.」と略す。

## 7. 図・表について

1) 図、表の表記にはそれぞれ「図」「表」英文の場合は「figure」「table」を使用する

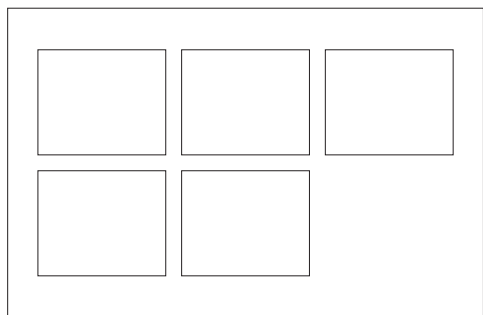
2) 表のタイトルは、表の上部左端から記載する。数行にわたる場合には表の左右の幅一杯を使用して記載すること。

図は内容の説明文をつけ、挿図の下の左端から記載する。

3) 図、表及び写真は A4の用紙に貼付したうえ、「図 1」「図 2」... 「Fig. 1」「Fig. 2」... 等明記し、用紙の右下には筆頭著者名を記入する。

4) 表は見やすいものとする

5) 図、写真、表は10枚まで。パワーポイント形式で10枚の組スライドまでとする。(下記参照)



口腔内5枚法写真の組スライドの場合

(注：口腔内5枚法は2段組になります。)

## 8. 「文献」の書き方

1) 引用文献・参考文献等については、タイトルの表現を「文献」に統一する。

2) 文献の番号には頭に1) 2) 3) ...のナンバーをつけ、引用順で記載する。

3) 2名以上の共著者の場合、著者名の区切りはすべてコンマ

「,」とする。

4) 雑誌は著者名(3名まで、4名以上は他)：表題、雑誌名、巻、引用頁(始頁-終頁)、年(西暦)の順に記載する。単行本は著者名：書名、版、出版社名、出版社所在都市名、引用頁(始頁-終頁)発行年(西暦)の順に記載する。分担執筆による単行本については、分担執筆者：分担執筆の表題名、編集者名(監修者名)、書名、版、出版社名、出版社所在都市名、引用頁(始頁-終頁)発行年(西暦)の順に記載する。

(記載例)

1) 山道信之, 糸瀬正通：サイナスフロアエレベーション, 第1版, クインテッセンス出版, 東京, 189-190, 2008.

5) 欧文文献の単語の語頭は、冠詞、前置詞、接続詞を除き、大文字とする。

6) 欧文著者名の表記は著者の Last Name と First Name の間を1文字空け、First Name と Middle Name はイニシャルによる接続表記とする。(イニシャルにピリオド「.」は入れない)

7) ed. 等の略記のピリオドは省く。「ed.」→「ed」

(記載例)

2) Tarnow DP, Cho SC, Wallance SS: The effect of inter implant distance on the height of inter-implant bone crest, J Periodontol, 71(4), 546-549, 2000.

## 9. 投稿論文の受理

投稿論文の受付時に「受付証」、査読終了後掲載決定時に「受理証」発行する。投稿論文の採否、掲載順序は学術委員会で査読を行った後に決定する。なお学術委員会、広報委員会が必要と認めた場合、著者に原稿の一部書き直しを依頼することがある。

## 10. 校正

著者校正は再校までとし、校正時の原稿改変は認めない。但し、広報編集委員会経由で依頼した図等のトレースは初校のみとする。